



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24

RI 第 2500 地区

Vol. 025

No. 2332

地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度RI会長 レイ・クリンギンスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

士別RCテーマ：

「ロータリーを見つめ、明日の地域へつなごう」



商工会館
画/百瀬達夫

- 例会場/士別グランドホテル
- 例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所/士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
- 会長/神田 英一 ●副会長/若森 孝
- 幹事/宮崎 隆雄

第 2413 回例会 2011年 2月 14日 (月)

本日のプログラム ・ 普通例会

前回 (2月7日) の記録

・ 普通例会 ・ 会員卓話 (佐藤和彦会員)

司 会 本山忠之会場監督
 唱 奉仕の理想
 本日の出席 会員 54名中 出席者 42名 出席率 77.7% 修正 81.4%
 本日の欠席 今井 裕、菊地 博、國森和磨、中川涼一、川橋勝美、佐藤元保、汐川泰晴、
 高山 稔、佐藤元信、黒田康敬、宮田喜久三郎

メイクアップ
 ゲ ス ト
 ニコニコBOX 山本俊一、吉川紀雄、武田 修、若森 孝 (誕生祝)
 吉川紀雄 (初孫誕生記念)

累計 240,000 円

例 会 予 定

● 2月例会日 (世界理解月間)

- 2月 7日 (月) 例会・理事会
- 2月 14日 (月) 例会
- 2月 21日 (月) 例会
- 2月 28日 (月) 夜間例会

● 3月例会日 (識字率向上月間)

- 3月 7日 (月) 例会・理事会
- 3月 14日 (月) 例会
- 3月 21日 (月) 休会 (法定休日：春分の日)
- 3月 28日 (月) 夜間例会

■会務報告 神田英一会長

●先週の士別 RC 創立 50 周年記念事業慰労会には、多くの奥様の出席をいただき、和やかに楽しく開催させていただきました。

●大相撲八百長問題で、3月の春場所が中止になりました。戦争で被災し国技館の改修が遅れて中止になった 1946 年夏場所以来 65 年ぶりのことですが、力士の不祥事が理由での中止は初めてです。本場所は力士の技量を審査する場だそうですが、公益法人の認可の取り消しも言われています。関取と関取以外との待遇のあまりの違いにも驚かされましたが、伝統的な慣習を見直し、新しい伝統を始めることを期待します。

●国立市の住民基本台帳ネットワーク不参加に違法の判決が東京地裁でありました。国立市と福島県矢祭町の 2 市町だけが不参加だそうです。住基ネットに関しては、プライバシー侵害理由に運用差し止め、個人情報削除を求める訴訟に対し 2008 年最高裁で合憲の判決がでていました。政府は 2015 年に共通番号制度を開始予定です。住基ネットを土台に導入されるようですが、国に管理されること、便利さ、ネットのリスク等、我々のためのものであるよう願います。

●6月5日に開催します IM につきまして、スタートが遅くなりましたが、IM 運営委員会を組織して進めていく事になると考えています。配属の委員会、委員長、副委員長等お願いすることとなりますが、快く承諾しご協力いただきますようお願いいたします。

■幹事報告 宮崎隆雄幹事

1. 本日例会終了後、当ホテル 2 階にて理事会を開催致します。理事の皆様のご出席をお願い致します。
2. 抜萃のつづり、ガバナー月信 2 月号、ロータリーの友 2 月号、を各テーブル

に配布させて頂きましたので、お持ち帰り頂けますようお願い致します。

3. 美深 RC より 1 月の会報、2 月の例会案内が届いております。資料台に置いてございますのでご観覧下さい。

■委員会報告

●プログラム委員会 泉谷 勇委員長

2月18日、士別グランドホテル、午後6時より第2回目のロータリー塾を開催致します。該当の会員または、その他の会員で参加希望の方は本日が締切と成っておりますので、ご連絡をお願い致します。

■会員卓話

●佐藤和彦会員

私は入社以来、製糖所の設備を担当しておりましたので、設備についてお話をさせて頂きたいと思います。

皆様がお存じのビート工場から立ち上がる煙りは冬の風物詩となっておりますが、大半が水蒸気で膨大なエネルギーを保っております。

製糖工場では 18% の糖液を煮詰めて砂糖を作る訳ですが、80 数% の水を蒸発させる行程が主体で、膨大なエネルギーを使っております。

高圧な蒸気を発生させて、自前の蒸気タービン、発電機を動かして電力を発生させています。これで工場内の機械を動



かしたり糖液の濃縮をしたりしております。ユーティリティー関係は基本的に自前でやっております。

工場から立ち上がる水蒸気はビートから砂糖を取り出した絞りかすをパルプと呼んでおります。(本日、見本を回覧させて頂いております。)

このパルプを乾燥するために、重油を炊いた熱風で乾燥致します。1シーズンの燃料の使用量は3,000キロリッターでございます。

この蒸気につきまして何とか有効活用出来ない物かと日々模索しておりましたが、1990年にフランスのビート工場でデンマークの技術によるパルプの蒸気乾燥設備が導入されております。

当社では2007年に美幌製糖所に導入が決定され2008年に着工され2009年に完成し稼働されております。

今期で2期目の稼働をしております。これの使用で工場内のエネルギーの使用料が約13%削減されております。CO2に関しましても約10パーセントの削減を達成しております。

デンマークをお話を致しますと、環境に関して進んだ国であり、風力発電が普及しております。国内の消費電力の20%を風力発電でまかなっております。環境に対し配慮した国でございます。

また、デンマークには世界第1位の風力発電の生産メーカーあり、世界で28.4パーセントの視野を保っております。

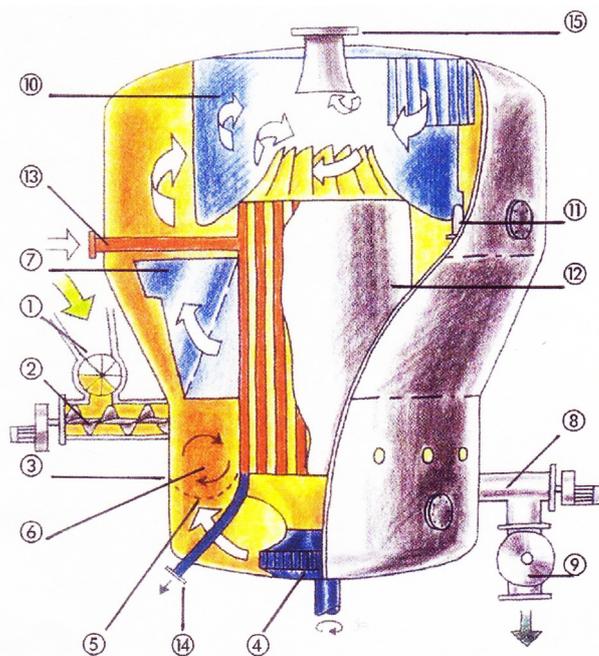
本題のタービンに付いて説明をさせて頂きます。大きさは直径7.6m、高さが14.1mの圧力容器でございます。20から25mmの鉄板で覆われております。

順番に説明致しますと。

⑫スーパーヒーターで蒸気を加熱、⑦ロータリーバルブは中の圧力を保持する、⑧出口コンベアを經由して⑨の出口ロータリーバルブから乾燥した物が出てきます。入口のパルプの水分は70%、出

口の水分は8%になります。時間は2から3分で乾燥して出てきます。

生産性、環境性のある機械であります。今後は芽室製糖所で導入予定をしております。現在士別製糖所は作付け面積が減ってきておりますので、その面積の確保が重要課題と成っております。今後士別も導入出来るように頑張りたいと思います。



設備概要

- | | |
|-----------------|---------------|
| ①SD 入口ロータリバルブ | ⑨SD 出口ロータリバルブ |
| ②SD 入口コンベヤ | ⑩メインサイクロン |
| ③本体 | ⑪サイドサイクロン |
| ④メインファン | ⑫スーパーヒーター(SH) |
| ⑤流動床多孔板 | ⑬高圧蒸気入口 |
| ⑥円形流動床 | ⑭ドレン配管 |
| ⑦ガイドとヒーティングプレート | ⑮蒸気出口 |
| ⑧SD 出口コンベヤ | |

★今月(2月)の誕生祝い★



武田 修会員・若森 孝会員・吉川紀雄会員
黒田康敬会員・川橋勝美会員・山本俊一会員